

Rotary

Yachiyo



2024-25 年度国際ロータリーテーマ

「ロータリーのマジック」

2024-25 年度クラブテーマ

「互いに親しみ・広げよう交流と親睦」

週報 第2760回

2024年9月20日

八千代ロータリークラブ CLUB NO.15070

今回例会行事 テーマ：今後の株価動向について

将来の安定を確保する経営者のための一時払い終身保険戦略

担当：雑誌委員会

卓話者：妹尾和昭様 新井隆師様

次回例会

テーマ：「TSUNAGU2790」の報告と奉仕について

担当：国際奉仕委員会

卓話者：橋本幹雄会員

◆◆◆◆第2759例会◆◆◆◆

司会 佐野忠信

「それでこそロータリー」

「四つのテスト」 齊唱

お客様

第1空挺団本部 第1科長

2等陸佐 田中保和様

会長挨拶

会長 安宅照男

2024年パリパラリンピックは、9月8日に12日間の熱戦を終え盛大な閉会式とともに幕を閉じました。閉会式はフランス郊外のサンドニにあるフランス競技場で行われ、次回開催地ロサンゼルスへの引継ぎも行われました。日本はこの大会で金メダル14個、銀メダル10個、銅メダル17個、合計41個のメダルを獲得し、選手たちの活躍が称えられました。

今後の課題は、選手層の拡大、支援体制の充実、障がい者スポーツへのアクセス向上などの強化となっています。これらの課題を克服しつつ、次回開催地ロサンゼルスに向け日本選手たちの、より一層の活躍をご期待します。

さて私たちは、毎日どのような心で暮ら

し、どのような心で人に接しているでしょうか。日本に伝統的な感謝や謙虚さを表す文化に深く根差した、「おかげさま」は自分が何かを成し遂げられるのは、他人の支えや見えない力のおかげ、個人の力だけでなく、周りの人々や環境、運命など、あらゆるものに対して感謝の気持ちを抱く姿勢です。その感謝の気持ちを心に留め、他人への感謝を行動や言葉で表し、日常生活や仕事に反映させ、具体的に、誰かに対して感謝の気持ちを言葉にすることや、他人をサポートする姿勢を持ち続ける事です。私たちは多くの人に支えられ、今を生きてています。日常生活を営むうえで、電気、ガス、水道など利用しないわけにはいきません。ライフラインの背後には、仕事という形でサービスを支えている大勢の人たちの力があります。その労力に対して、私たちは普段取り立てて「おかげさま」といった意識は持たないものです。サービスを利用する側はお金を支払っているし、提供する側はそれで報酬を得ているのだから当然という見方もあります。しかし、この会社を構成する一員として大切なことは、持ちつ持たれつの関係の中にいると自覚することではないでしょうか。

迷惑をかけたり、かけられたりすることもある関係、ということができます。自分では気づかないうちに、他人に迷惑をかけていることもあるはずです。その自覚が

あってこそ、私たちの心に「おかげさま」「お互いさま」という気持ちが生まれてきます。

「おかげさま」は自分を支えてくれているすべてのものへの感謝を表す言葉。

「お互いさま」は自分も皆さんのお世話になっていますから、自分も誰かしらに迷惑をかけていることはありますから、といった謙虚な気持ちが込められます。

日本の文化や人間関係において、感謝を大切にすることは、相互の信頼や調和を築く基本的な条件です。私たちという人間は大勢の人たちから大切にされている、かけがえのない存在である。その事実を認識したとき、心の中に安心が生まれ、人生を生き抜くための力がわいてくるのではないでしょうか。

幹事報告

幹事 寺沢一三

【理事会報告】

- ・11/1 例会時間・例会場所変更
日程: 11/1(金) 18:30 点鐘 (炉辺会談)
場所: 貝殻亭(予定)
- ・R 財団セミナーに会長幹事、次年度会長幹事、財団委員長・副委員長参加
- ・新入会員伺いについて回覧しますので、ご確認をお願いします。
- ・月見の会開催
日程: 10/18(金)
場所: さわ田茶屋(予定)
- ・10月より昼食代が 200 円値上がりとなります。
- ・RLI パート2開催。参加希望者はお声がけ下さい。

お祝い

結婚記念日: 石渡会員
夫人誕生日: 中島文枝様

例会行事

クラブ管理運営委員会 統括委員長 宮田 健吾

本日は、第1空挺団本部 第1科長2等陸佐 田中保和様をお迎えし、自衛隊の災害派遣と防衛について卓話を頂きます。よろしくお願い致します。

テーマ: 自衛隊の災害派遣と防衛講話
卓話者: 第1空挺団本部 第1科長
2等陸佐 田中保和様



第1空挺団本部 第1科長2等陸佐 田中です。本日は例会にお招きいただき、大変光栄に感じております。最近の自衛隊の動向に伴う防衛、及び災害派遣、災害活動についてお話をいたします。

今日は

- 1.自由で開かれたインド太平洋
- 2.自衛隊の取り組み
- 3.自衛隊の募集状況

について3つのお話をさせて頂きます。

【自由で開かれたインド太平洋(FOIP)への取り組み】

2016年8月、当時の安倍首相が提唱(アフリカ開発会議の基調演説、ケニア)積極的平和主義、地球儀を俯瞰する外交のコンセプト発展(中国の一路一帯施策を睨んだ戦略思想)

[FOIPS]

- ①法の支配、航行の自由等の基本的価値の普及、定着
- ②アジアとアフリカの連結性の向上等による経済的繁栄の追求
- ③海上法執行能力構築支援等の平和と安定のための取り組み

アジアとアフリカの連結性を向上させるためASEAN 各国と共にシーレーンとなる地域の安定・繁栄の促進を狙ったもの。

上記戦略を受け、2016年11月、稻田防衛大臣がビエンチャン・ビジョン表明(ラオス、第2回 ASEAN 防衛大臣会合)※防衛省が展開する初の防衛外交のビジョン

【ビエンチャン・ビジョン】

- ①「法の支配」を貫徹するため、海洋及び航空分野での国際法の認識共有促進支援
- ②海洋安全保障の強化のため、海洋及び上空の情報収集・警戒監視、捜索救難の能力向上を支援
- ③安全保障上の課題に対処するため、多分野にわたる ASEAN の能力向上を支援

2023年3月、岸田首相は「FOIP のための新たなプラン」を発表（インド世界問題評議会、インド）4つの柱として、1. 平和の原則と繁栄のルール。2. インド太平洋の課題対処。3. 多層的連結性。4. 海から空へ広がる安全保障、安全利用です。

- ・インド太平洋地域→世界人口の半数以上の世界活力の中核
- ・同地域の安定的・自律的発展実現→世界安定・反映に不可欠
- ・自由・活発な経済社会活動を促進→地域全体の繁栄実現

世界情勢の変化と FOIP の重要度の高まり

- ・力での現状変化を行う国家の台頭（特に我が国周辺国）
- ・基本的価値（法による秩序、民主主義）を共有する国々との連携強化の必要性大

【防衛省の具体的取り組みの紹介】

- ・国際法セミナー、能力構築支援事業（救助や災害派遣の能力）、防衛装備・技術協力、共同訓練・共同演習、人材育成・学術交流、日本 ASEAN の一体化事業等
- ・海上自衛隊：インド太平洋方面派遣訓練（IPD）※海自最大の訓練事業 → 令和元年の訓練参加
- ・約3か月、太平洋・南シナ海・インド洋、5カ国（星・馬・越・文・比）への戦略寄港、最大同時9カ国との共同訓練）国は違っても国民を思う気持ちに変わりはないという感情がこみ上げてきました。
- ・世界↔日本、各国軍人↔自衛官、海上↔陸上自衛官

・14カ国の軍人と交流、特にラオス陸軍少佐との交流エピソード

空挺団：共同訓練、NYJIP

共同訓練：インドネシア陸軍（SCS）、イギリス陸軍（VI）

NYJIP：令和5年4カ国（日・米・英・豪）

令和6年8カ国（日・米・英・仏・独・加・蘭・尼）訓練という位置づけではなく、行事に参加して、降下の技術を交流し、連携強化を図ります。

※陸上自衛隊のみならず、自衛隊内での他国参加最大規模の行事（cf. 2022年国際観艦式参加 12カ国）

【災害対応への取り組み】

大規模災害を通じて深化

- ・ルース台風（1951年）：都道府県知事の要請権者（長官若しくはその指定者）
- ・伊勢湾台風（1959年）：自衛隊初の陸・海・空の統合運用、米軍との連携、災害対策基本法成立、13個師団編成
- ・新潟地震（1964年）：首都圏震災対処計画

・日航機墜落事故（1985年）：空挺団に航空災害を含む方面隊運用の30分以内に約30名の初動部隊編成

・阪神淡路大震災（1995年）：市町村長から各知事へ派遣要請を要求、自衛官の権限追加、ヘリ映伝・人命救助セット整備

・東日本大震災（2011年）：震度5弱以上の初動対応部隊（FAST（First Action Support）Force、1時間以内の派遣）空挺団では30名を1時間以内に派遣、24時間以内に300名程度の部隊を派遣できる初動体制を取っています

・千葉県隊区：空挺団、八千代市担任は第2普通科大隊

派遣におけるエピソード

- ・習志野演習場～御巣鷹山へのラペリング、現地ヘリポート作成
- ・東日本大震災における原子力災害派遣対処に任ずる隊員の土氣

派遣前には隊員との面接を行いましたが、足を骨折していた隊員も、自ら派遣を申し出くれました。必ず任務を完遂し、隊員の思いや崇高な使命への重責を感じました。

V-22(オスプレイ) 戦力化重要

・CH-47JA と比較して「より早く・より遠くへ」

最大速度約2倍

(約 270 Km/h → 約 465 Km/h)

航続距離約3倍

(約 800 km → 約 2600 km)

最大飛行高度約3倍

(約 2800 m → 約 7620 m)

※習志野演習場での離発着の意義(木更津駐屯地まで約1時間半)

【厳しい募集状況】

2023年度の自衛官採用率は募集人數の51%(1993年度の56%を下回り創隊以来史上最低)自衛官候補生(任期制)の採用率は30%

募集対象の上限年齢:H30.10～引き上げ(33歳未満)

定年延長、女性活躍推進、待遇改善等職務の魅力(活躍・活動の場の広さ、資質・能力の向上)のアピール

女性の就けないポジションはありません。是非とも、オピニオンの皆様の協力をお願いします。

会長謝辞

会長 安宅照男

本日はお忙しい中、卓話を頂き誠にありがとうございました。

日頃の災害に際し、陸上自衛隊の皆

近隣クラブ例会日

火曜日	四街道R.C	例会場
火曜日	八千代中央R.C	四街道ゴルフ俱楽部
水曜日	習志野R.C	八千代中央R.C ウィシュトンホテル・ユーカリ
水曜日	佐倉中央R.C	習志野商工会議所会館
木曜日	佐倉R.C	佐倉最終フレーバート夜間
木曜日	習志野中央R.C	佐倉商工会議所

- クラブ広報委員会 委員長: 菊川秀明 副委員長: 佐久間勇治
- 出席委員長 納富修 ※欠席の際は必ず月曜日迄に出席委員長に連絡して下さい
- 例会日: 金曜日 12:30～13:30
- 例会場: ハーツ・ノウイータ(〒276-0049 八千代市緑が丘1-1-1 公園都市プラザ 1F:FAX 047-450-0050)

様が敏速かつ献身的に災害派遣活動を行って頂くことに、心より感謝申し上げます。救助活動や物資の輸送、被災地での支援活動において、皆様の専門的な技術と判断力で、多くの命が救われ、多くの人々が再び日常を取り戻すための道筋の確保など、皆様が常に前線で奮闘されている姿勢に敬意と感謝を感じます。

今後とも引き続き、安全で安心な社会を守るためにご尽力いただくことをご期待すると共に、皆様のご健勝と安全をお祈り申し上げます。

～ニコニコ BOX～

¥25,000-

☆82歳になりました。早いですね。石渡☆妻の誕生日お祝い

ありがとうございます。 中島 仁

☆田中様卓話よろしくお願ひ致します。

宮田・中島貞好・稻山・江口・杉山・菊川

上代・杉・飯田・山浦・風間・日下部

☆9/11 社福ゴルフコンペに参加頂いた会員の皆さま、ご協力ありがとうございました。 社会奉仕委員会

☆先週欠席しました。 日下部

☆欠席が続きました。 斎藤敏夫

☆日本会議八千代支部への寄付ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひ致します。 江口

☆前回欠席しました。 山崎・佐久間

～友愛 BOX～

¥9,000-

☆田中様卓話楽しみにしています。

安宅・朝戸・栗原・遠藤・江頭

浅野正敏

☆小林さん頑張れ！ 渡邊

☆13日の金曜日

黒ネコに気を付けましょう。 葉山

☆連日暑いです。 納富

	会員 総数	出席 対象者	出席者	%
9/13	5 5	5 1	4 1	80.39

9月のロータリーレート 1ドル ¥ 1 4 5 -